

## 第二回放射性同位元素陸上輸送安全対策検討会議事概要

1. 日時：平成20年11月5日（水）15：30～17：30

2. 場所：中央合同庁舎7号館9階904号室

3. 出席者

○委員：中込委員（座長）、木村委員、斉藤委員（以上、学識経験者）、石川委員（荷主）、  
縣委員、鈴木委員、松井委員（代理）（以上、運送事業者）、内藤委員、山崎委員、  
一見委員、矢作委員、田路委員（代理）（以上、国土交通省）、黒木委員、  
中矢委員（以上、文部科学省）

○オブザーバー：井出交通・環境部長（（社）全日本トラック協会）、高橋事務局長（（社）  
航空貨物運送協会）

○参考人：ニッ川アイソトープ部長（（社）日本アイソトープ協会）、山之内取締役部長  
（（株）日陸）、安田経営改革部長（西濃運輸（株））、志方業務営業部長（大  
阪航空サービス（株））

4. 議事概要

○今般L型輸送物が紛失したことによる公衆への危険性について事務局より説明があ  
った。それを受けての主な発言は以下の通り。

・放射性輸送物といっても、放射能の量が大きいものから小さいものまである。今回は、  
L型輸送物がなくなったということを念頭において今後の議論をしていくべきでは  
ないか。

○今回の事案について、参考人を交えて原因等について意見交換が行われた。主な意見  
は以下の通り。

・荷物が紛失して出てこないといったケースはほとんどない。

・誤って当該輸送物を持ってしまった者が、騒ぎが大きくなってしまったため、当該輸  
送物を出すに出せなくなってしまっているということも考えられるのではないか。

・今回の事案（紛失）について、どういったところに問題点があったのか、どういった

取り組みをしていれば紛失が起こる可能性を少なくできたのかを整理する必要があるのではないか。

○事務局から、貴重品等に採用されている既存の紛失防止対策について紹介があり、その後、意見交換があった。主な意見は次の通り。

- ・放射性輸送物が一目で他の輸送物と違うことが認識できる取り組みの検討も併せて必要ではないか。ただし、放射性輸送物は国際輸送があるため、その点には留意が必要ではないか。

#### 5. 今後の予定

- ・11月下旬に第3回検討会を開催予定。